令和６年度鹿児島学習定着度調査結果分析

鹿児島市立吉田小学校

各教科の分析（課題及び今後の取組等について）

５年生を対象に実施した「令和6年度鹿児島学習定着度調査」の結果をお知らせします。実施前には，過去の問題等を活用して復習を行いました。

【国語科】

「長文の中から，キーワードを探しきれていない。」「前後の文章(会話のやり取り)から，会話の内容を推測することができていない。」「何を問われているか，どう答えるのか，問題の意味が分かっていない。」等の誤答が見られた。

今後の改善策として，下記の取組を行う。

・初見の文章に触れる機会をもつ。　・新聞記事等の活用。
・相手の発言を受けて返答する話合い活動を充実させていく。
・類似問題，応用問題に取り組ませる。
・根拠を明確にして，説得力のある話をしたり，文章を書いたりすることを意識させる。

【社会科】

「アフリカ大陸を覚えていない。」「北緯，東経を正しく覚えていなく，逆になっている。」「季節風の言葉でなく，意味を押さえていない。」「漁業（沖合，遠洋，沿岸）の違いを理解していない。」「国内生産と現地生産の特徴を理解していない。」等の誤答が見られた。

今後の改善策として，下記の取組を行う。

・フラッシュカードなどで定期的に６大大陸全てを繰り返し覚えさせる。
・「緯度」「経度」など，似たような言葉がたくさん出てくるので，漢字意味で覚えさせる。
・言葉だけでなく，どうして夏が暑くなるか，冬が寒くなるかをイメージさせて説明する。
・文章とグラフの読み取り方（縦軸，横軸）を丁寧に行う。

【算数科】

「文章問題の内容理解ができていない。」「問題の読み取り不足。」「折れ線グラフ，棒グラフの読み取り方の理解。」等の誤答が見られた。

今後の改善策として，下記の取組を行う。

・文章問題を，絵や図に表す。　・答えの検討をつける。
・およその答えを考えながら，答えと照らし合わせる。
・問題の中で大事な部分に線を引く習慣をつける。何について聞かれているのかを理解する。
・各学年での振り返り指導。　・消去法で答えを導き出す方法を知る。

【理科】

「実験器具の名前を正確に覚えていない。」「直列つなぎと並列つなぎの性質や特徴を理解していない。」「でんぷんという用語が身についていない。」「浸食，運搬，堆積の３つの言葉が定着していない。」等の誤答が見られた。

今後の改善策として，下記の取組を行う。

・実験のたびに必ず実験器具の名前を確認する。
・実験結果からの考察の時間をしっかり確保し，様々な意見に触れさせる。
・ヨウ素液を使ったインゲンマメのでんぷんの確認の際，パンやごはんにもでんぷんが含まれるなど，様々に含まれていることを押さえる。
・実験を行う中で，しっかりと言葉の意味を踏まえて関連付け，定着させる。また，実際の川についても対応して考えさせる。

全体として文章問題及び資料・グラフの読み取り，等に課題がみられた。上記の手立てに加えて，ナビマ，単元テスト，家庭学習で学習の定着を図り，１人１人の課題を捉えた個に応じた指導に努めていきたい。